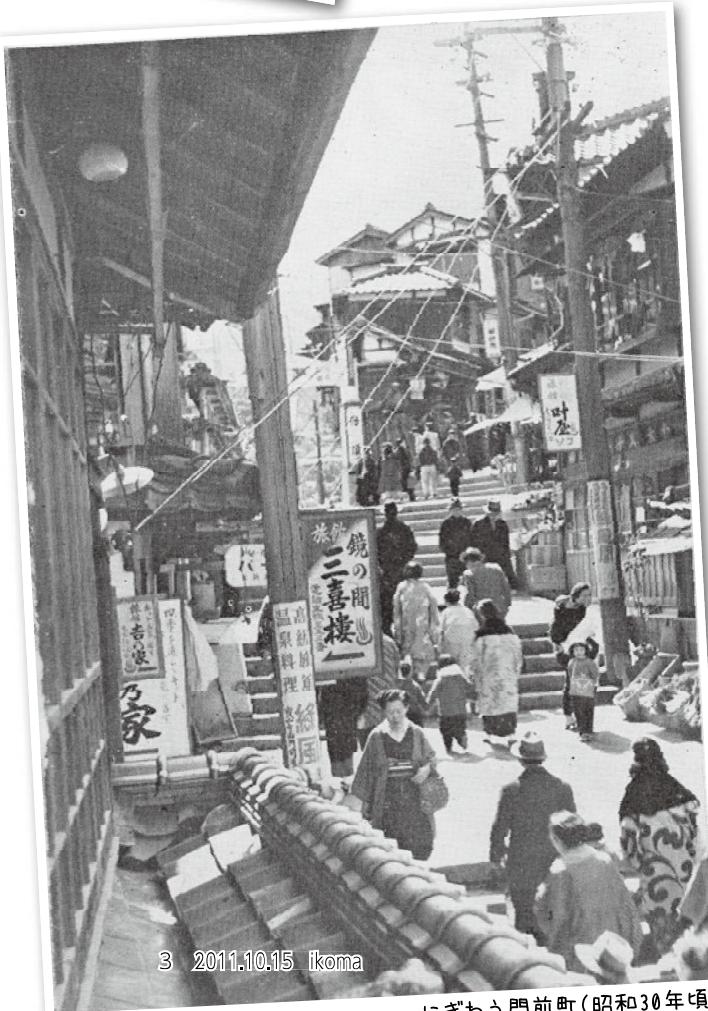




市制40周年  
特別企画

# 駒生定檢

私たちのまちのこと、知っていますか？  
3つの町村が合併し  
生駒市が誕生してから、  
11月1日で40年を迎えます。  
ずっと生駒に住んでいる人も、  
転入したばかりの人も、  
地元のクイズに挑戦してみましょう！



# 問題編

答えは6・7ページ

## 写真問題

下の写真はかつて生駒市内で見られた風景です。  
さて、どこでしょうか？

ア



すっかり様変わりしたこの場所。  
生駒市はめざましく発展しました。

1920年頃撮影

イ



僕の子どものころの遊び場です。当時は豆腐が水槽に入って売られていたり、吊したかごがレジがわりになったりしていました。

1973年撮影

ウ



1977年撮影

▲現在、宝山寺の参道にあるこの鳥居。以前は別の場所にありました。ヒントは右に映っている鳥居前駅。

エ



1981年撮影

▲この建物が建つ前は田んぼだったこの場所。ザリガニを捕りに来る近所の子どもたちが見られました。

オ



住宅が増えつつあるこの頃、以前の方  
が気温が低かったように感じます。  
冬は雪を踏み固めてスキーをして遊んだ思い出もあります。

不明

カ



1964年撮影(上空より)

▲上空から見ると里山や田んぼが広がるこの場所。今では最先端の科学技術に触れ合うことができるニュータウンです。

# 一問一答

**Q.1** 「生駒」の地名の由来はなんでしょう？

**Q.2** 生駒聖天とも呼ばれ、商売繁盛祈願に多くの人が訪れる宝山寺。聖天さんの好物はなんでしょう？



**Q.3** 小瀬にある大瀬中学校。小明にある光明中学校。漢字が違うのはなぜ？

**Q.4** 寺などを多く建てた奈良時代の僧、行基の墓は生駒にあります。どこにあるでしょう？

**Q.5** 平安時代、市内を流れる竜田川を詠んだ和歌、「千早ぶる 神代もきかず 竜田川 からくれなゐに 水くくるとは」の作者は？

**Q.6** 松尾芭蕉が句を詠み、また、井原西鶴の作品にも登場する場所が市内にあります。どこでしょう？

**Q.7** 今年の3月、奈良県指定文化財になった「生駒の火祭り」で有名なのは高山八幡宮？それとも往馬大社(往馬坐伊古麻都比古神社)？



**Q.8** この地名はなんと読むでしょう？

- ①傍示
- ②大北
- ③蛇喰
- ④出垣内
- ⑤小明
- ⑥菜畑
- ⑦壱分
- ⑧小倉寺



**Q.9** 奈良県指定文化財になっている、明治から昭和の初めにかけて乙田村(現:萩の台)で盛んだったものは何でしょう？

**Q.10** この生駒市のイメージキャラクターの名前は？



**Q.11** 最先端の科学技術にふれることができる高山サイエンスプラザ。ガラスの壁面いっぱいに映るのは誰の顔でしょう？



**Q.12** 現存するものとしては国内最古の大型遊具「飛行塔」。さて、どこにあるでしょう？

**Q.13** Hi-OVISとは、光ファイバーケーブルによりセンターと家庭とを映像と音声で結ぶ完全双方向機能を持った映像情報システムです。世界初の大規模な社会実験が行われたのはどこでしょう？

**Q.14** 1984年、わかくさ国体が生駒市の総合公園で行われ、ある競技の会場になりました。さて、何の競技でしょうか？

**Q.15** 日本一の生産高を誇る、生駒の伝統的工芸品は何でしょう？

**Q.16** 鳥居前駅と宝山寺駅の間を走る日本最古のケーブルカー。現在走っている2台の名前は？



**Q.17** 生駒市北部から中部を通り、難波や神戸までのアクセスをスムーズにした地下鉄中央線と直通する鉄道路線は？

**Q.18** 生駒市の人口は現在12万人を超えています。では、市制施行した昭和46年11月1日は何人だったでしょうか？

**Q.19** 生駒山は標高何メートルでしょう？



**Q.20** 生駒市章は何の字を上下に広げて図案化したものでしょうか？



# 解答編

## 写真問題

ア



答え：生駒駅

▲1975年頃の生駒市は全国でも有数の人口急増都市。開発が急がれ、生駒駅前は踏切も撤去されました。



答え：生駒駅前のぴっくり通り

▲アーケードを設けて雨の日も売り買いしやすく。名物は関西初の取組、商品を100円で販売する「100円商店街」。

ウ



昔はとても趣のあるまちなみだったんですね！でも今の生駒も、都会とは違う良さがあって、住んで良かったと思います。自然が残っているし、まちもきれい。帰ってくるとほっとします。

答え：生駒駅南側の通り



答え：生駒市役所庁舎

▲老朽化し、手狭で4つに分散していた旧庁舎。行政サービスの向上を目指して市制10周年を機に建て替えられました。

オ



昔は上町や高山から市役所に向かうとき、富雄を経由しなければならなかつたんですよ。便利になったなあと思います。

答え：手前があすか野、奥は真弓の住宅地



答え：高山サイエンスタウン

▲生駒市北部にある関西屈指のニュータウン。関西文化学術研究都市の文化学術研究地区です。

# 一問一答

**A.1** 神功皇后の馬に往馬大社の神水を与えると、馬の病気が治ったので生馬(生駒)と呼ぶようになった、など諸説あり、本当のところは分かっていません。

**A.2** 大根。毎年12月1日は生駒聖天厄除大根炊きが行われ、1年の厄を落とし、無病息災を願う参拝客でにぎわいます。ふるまわれる大根は、宝山寺味噌といただくと格別のおいしさ。8ページのクイズに答えて当てましょう！

**A.3** 兩校とも、子どもたちの成長を願って「小」という字を避け、「大」「光」を当てたのだそうです。また、小瀬小学校については、古くは大瀬と呼称されていたことや、略称された場合誤解を招くおそれがあることなども理由にあるそうです。

**A.4** 竹林寺。有里町にあり、行基が開いたと伝えられています。

**A.5** ありわらのなりひら  
在原業平

**A.6** 暗峠。（くらがりとうげ）昔は奈良、伊勢への参詣道などとして盛んに利用され、多くの茶屋が立ち並びにぎわった街道でした。



▶石畳が  
残る暗峠

**A.7** 往馬大社。高山八幡宮(重要文化財)では高山八幡宮宮座行事が有名で、とともに市の指定文化財に登録されています。

## A.8

- ①傍示…ほうじ
- ②大北…おぎた
- ③蛇喰…じゃはみ
- ④出垣内…でがいと
- ⑤小明…こうみょう
- ⑥菜畠…なばた
- ⑦壹分…いちぶ
- ⑧小倉寺…おぐらじ

**A.9** 淨瑠璃、人形芝居、歌舞伎など

▶芸術会館  
美楽来に保存されている  
人形芝居で  
使われた人形



## A.10

たけまるくんって  
呼んでね！



## Q.11 アインシュタイン

**A.12** 生駒山上遊園地。高さは30メートルで昭和4年に完成しました。



## A.13 東生駒

## A.14 ハンドボール。

奈良県チーム成年男子の監督として、国体に向けて2年間のトレーニングを積み、総合優勝しました。今でも生駒市はハンドボールが盛んなまちです。

▶当時の盛り  
上がりを知る、  
上中学校の  
佐々木教頭  
先生



**A.15** 茶筌。高山で生産されています。高山茶筌の漢字は筅ではなく筌と書きます。



**A.16** ミケとブル。趣深い下の写真はミケとブルが生まれる前に走っていたもの。



**A.17** 近鉄けいはんな線。長田～生駒間は1986年10月1日に、生駒～学研奈良登美ヶ丘間は2006年3月27日に開業しました。生駒第二阪奈有料道路とともに生駒市の発展を支えています。

**A.18** 37,439人

**A.19** 標高642メートル

**A.20** 生駒の「生」

市制40周年  
特別企画  
プレゼントクイズ

# 駒生定檢

生駒商工会議所と奈良生駒高速鉄道株式会社の協賛により、プレゼントクイズの景品を提供していただきました。  
プレゼントクイズの答えは、広報いこま11月15日号に掲載します。

## 全問正解した人の中から 抽選で45人にプレゼント

1人につき1枚のはがきに下のクイズの答えと、広報いこまについての率直な感想、希望するプレゼント(①～④)、住所、氏名、電話番号を書いて、生駒市広報広聴課(〒630-0288 東新町8-38、☎0743-74-1111、内線223)  
——プレゼントは希望に添えない場合があります。



①たけまる号の図書カード  
500円分 15人



②宝山寺味噌2個入 10人



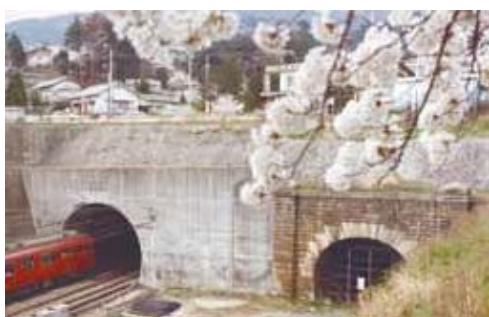
③イコマ製菓本舗 レインボーラムネ 10人



④けいはんな線記念スルッとKANSAIカード  
1,000円分 10人

## プレゼントクイズ 次のア～ウを古い順に並べ変えてください。

ア 近鉄奈良線生駒トンネル(写真左)開通



イ 第1回ふるさとふれあいまつり



ウ 市制施行



## プレゼントクイズのヒント

- アは、東京オリンピックの開催の年。写真右のトンネルはけいはんな線生駒トンネルです。写真は改築前のもの。
- イの「ふるさとふれあいまつり」は第15回まで行われ、その後は「いこまどんどこまつり」と名前を変え、現在も親しまれています。
- 市の歴史は「暮らしのガイド」や市のホームページで調べてみてください。



## お知らせ 市制40周年記念講演

演題 福沢諭吉に学ぶ“国を支えて国を頼らず”的精神

作家 北 康利さん

とき  
ところ  
費用  
問い合わせ

11月6日(日) 11:30～12:30(開場は11:15)  
中央公民館サンホール  
無料(申込不要)  
秘書課(☎0743-74-1111、内線204)



応募の締め切り  
2011年10月28日(金)  
(当日消印有効)

当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。